

春山昭平さん 文化財功労者表彰授与



11月4日、県庁において「平成23年度鹿児島県文化財功労者表彰」に関わる表彰式が行われました。本年度は5名の方が表彰され、曾於市からは深川原口にお住まいの春山昭平さんが授賞されました。

春山さんは、昭和63年から今年3月まで、23年間の長きにわたり文化財保護審議委員を務められ、末吉町と曾於市における文化財の保護・保存活動に貢献されました。今回は、その功績がたたえられての表彰となりました。

授賞された感想を「今回の表彰は身にあまる光栄で感謝しています。これを励みとして、今後も地域の皆さんと共に、文化財の保存・活用のために努力したいと思います。」と述べられました。

福留辰男さん 緑白綬有功章受章



11月21日、大隅町恒吉柳原自治会の福留辰男さんが、都道府県農事功績者（緑白綬有功章）を授章した報告に市長室を訪問されました。（公）大日本農会主催の受章式は11月18日に東京都港区の石垣記念ホールにて行われ、同会総裁である桂宮宣仁親王殿下より授与されたことなど、授章の喜びやこれまでの経緯等を池田市長に話されました。

緑白綬有功章受章は、農業農事改良の奨励または実行上功績顕著な者、農業上有益な発見または研究を行い成績顕著な者等に対し表彰するもので、明治27年以来続く歴史ある表彰事業です。

福留さんは長年にわたり畜産経営に自ら従事され、地域の農業の発展にご尽力してこられたこと等が評価されての受章です。

曾於市青少年リーダー研修(ゆず収穫・加工体験)



11月5日、曾於市観光特産開発センターの協力で青少年リーダー研修生25名がゆずの収穫及び加工体験を行いました。

西留忠さんのゆず畑では、枝いっぱい生えたトゲも何のその、剪定ハサミを手にした研修生が真剣な表情で収穫作業を行い、用意した袋はたちまちいっぱいになりました。

ゆず搾汁センターでは施設の見学を行い、生産者が搬入したゆずが加工される工程を学習しました。ゆずでいっぱいになったコンテナがいくつも並んでおり、研修生はその光景に大変驚いた様子でした。

その後、研修生は4班に分かれ、自分の手で収穫したゆずを使って、ゆずみそ・ゆずジュースと昼食の調理を行いました。レシピを参考に、みんなが協力して出来上がった料理は、ゆずの香りが食欲をそそり、すべて完食することができました。

研修生の一人は、「曾於市が九州一のゆずの産地だと初めて知りました。家庭でもできるだけゆずを使った料理を増やし、ゆずの消費を上げていきたい。」と話してくれました。

花房峡憩いの森散策ツアー

曾於市観光特産開発センターは、11月27日「花房峡憩いの森散策ツアー」を実施しました。

このツアーのポイントは、①照葉樹の原生林及び豊富なシダ類・ラン類、②紅葉、③安楽川の様々な景観（渓谷・滝・せせらぎ）、④新たに開発した特製ふる里弁当、⑤シイタケの炭火焼き、⑥観光ボランティアガイドの説明で、自然に触れ、植物等を学び、山道を歩いた後は美味しい弁当・シイタケを頂き、参加者は大満足でした。



樹木の説明に聞きいる参加者

肝付町と流鏝馬交流

曾於市観光特産開発センターは、大隅半島には曾於市と肝付町にしか流鏝馬が保存されていないことに着目し、肝付町と流鏝馬交流を行いました。

第一段階として、10月16日の肝付町の流鏝馬開催の日は、曾於市から肝付町に出かけ、11月23日の曾於市の流鏝馬開催の日は、肝付町から曾於市に来ていただき、お互いの流鏝馬を勉強し、交流を深めました。

今後、観光交流や特産品の交流にも広げ、両市町の活性化につなげたいとのことでした。



住吉神社で肝付町との流鏝馬交流会

農業の振興のために…



11月25日、農業委員会の石脇勝会長らが市長室を訪れ、「曾於市農業振興政策についての提言書」を提出されました。

この提言書は、曾於市農業委員会から市当局に対して毎年提出されているもので、今年は、T P P参加反対要望と軽油引取税免税についてをはじめ、葉たばこ農家・シルバー人材センター・畜産農家の支援や有害鳥獣対策、食育の推進と地産地消、農家の後継者対策についての全8項目が盛り込まれた提言書を池田市長へ手渡しました。

池田市長は、それぞれの項目ごとに問題点や課題点を話した後、「T P P問題については、農家の死活問題でもあり、今後も政府に強く要望していきたい。その他の点については、いただいた提言書をもとに、十分検討して、前向きに取り組んでいきたい」と話しました。

西留タツ子さん・牧之瀬和子さん 総務大臣表彰受賞



12月1日、末吉町の尾崎山にお住いの西留タツ子さんと大隅町別府にお住いの牧之瀬和子さんが市長室を訪問され、統計功労者表彰を受賞した報告をされました。

この表彰は、統計業務に関与し、その功績が顕著で、統計及び統計制度の改善発達に資するとともに、統計に従事する者の士気高揚を図ることを目的に設置されているものです。

表彰対象調査は、西留さんが国勢調査指導員として、牧之瀬さんが家計調査員としての受賞ですが、お二人とも永年の調査活動で培ったノウハウや調査能力を評価されての受賞です。

お二人にお話を伺うと「市民の皆様のお陰でこの賞を頂くことが出来たと深く感謝致します。今後も地域や国政発展の為に微力ながら頑張っていきたいと思います」と笑顔で述べられました。

曾於市ブランド認定



11月14日、末吉本庁会議室で曾於市ブランド認証書交付式が行われました。

このブランド認証事業は、平成21年からプロジェクトチームを設立し、付加価値の高い特産品や観光商品開発を推進し、総合的な「曾於市ブランド」を確立することを目的に推し進めてきたものです。

認証基準としては、①曾於市へのこだわりがあること、②商品としてのこだわりがあること③安定供給や環境面・健康面に留意した信頼性があることです。

認証品は、9社16品目ですが、今後は、道の駅において曾於市ブランド品コーナーを設けて販売に取り組むなど流通販売面の強化も図っていく方針です。

「茶一杯の日」に曾於茶をPR



11月23日、末吉町・大隅町両道の駅で「お茶一杯の日」にちなんだイベントが開催されました。

この日は、お茶の効能や美味しさを知ってもらおうと全国各地でさまざまなイベントが開催されました。

曾於市でも Soo-Tea Workmans の7名が、訪れるお客さんにお茶や手作りのホットケーキを振舞っていました。

メンバーにお話を伺うと「鹿児島県だけでなく全国各地で若い世代のお茶離れが進み、お茶を飲む習慣がなくなってきており、消費が伸び悩んでいます。お茶の効能や本当のお茶の入れ方、美味しさを知ってもらって消費を拡大していきたい。」とおっしゃっていました。

鹿児島県で5番目の荒茶生産量を誇る曾於市のお茶をもっとPRし、健康で心豊かな生活を送れるようにしたいものですね。

イオン 太陽光発電設備贈呈



11月24日、財部中学校で太陽光発電設備贈呈式がありました。

この事業は、イオン環境財団（千葉市）が環境を学ぶ教材に知ってもらおうと毎年全国の中学校へ贈っているもので、鹿児島県では同校がはじめてです。

設備のパネルは48枚、縦4m 横18m で発電能力は10kW、4～5教室の消費電力をまかなえるそうです。

式の最後に同校生徒会長の岩元慎吾君のお礼の言葉があり、「東日本大震災以来、環境問題、電力問題についていろいろ勉強してきましたが、財部北中、財部南中との統合で、新生財部中として生まれ変わる時期にこのような設備を贈って頂き本当にありがたい気持ちでいっぱいです。これからも電力や環境問題を常に意識して取り組んでいきたい」とハキハキとした口調でしっかりと述べていました。

がねコンテストG1グランプリ環霧島決勝大会



G1 グランプリ環霧島決勝大会の状況

11月20日、都城市の「滝の駅せきのお」で「がねコンテストG1グランプリ環霧島決勝大会」が開催されました。

出場チームは、曾於市・霧島市・都城市・小林市の予選で優勝・準優勝した8チームで、曾於市からは曾於市がねコンテストで優勝した「あさがお」と準優勝の「財部シルバー」が参加しました。

結果は、「財部シルバー」が優勝、「あさがお」が準優勝で、曾於市が上位を独占し、郷土料理のレベルの高さを見せつけました。

南九州特有の郷土料理が全国の食卓を飾り、南九州ひいては曾於市をもっともっとアピールすることができればいいですね。

心豊かな青少年を育てよう



携帯電話フィルタリング設定

12月10日、鹿児島県青少年育成アドバイザーの皆さんが、末吉総合センターで開催された「市P連の集い」にこられた保護者の方々を対象に、青少年の携帯電話にフィルタリングの設定を推進する啓発活動をされました。

フィルタリングは、携帯電話で出会い系サイトなどの危険なサイトに進入しないための「有害サイトアクセス制限サービス」のことで、保護者の許可がない限りこのサービスを装着することが義務付けられています。近年、携帯電話が青少年の犯罪に巻き込まれる温床になっていると言われています。

アクセス制限がかかっているため、子供達から「このサービスを外してくれ」とせがまれて解除するケースが多いようです。

子供達を犯罪から守るため保護者の皆さんの毅然とした態度で子供と接するよう望みます。

スポーツ選手活用体力向上事業 福永泰さん(サッカー)



12月6日、岩川小学校に元Jリーグ浦和レッズダイヤモンドの福永泰さんが訪問し、講演と実技指導を行いました。

講演の中で、「私は、高校入学時人見知りをする性格で、試合中大きな声を出すことができませんでした。監督にそれを直すため、女子校舎の前で校歌を歌う練習をさせられました。また、左足が苦手だったので通常の練習の後、壁を相手に納得のいくまで左足で蹴る練習をしました。この二つの練習がその後の私の人生に大きな財産になったと思います。人間はできなくて苦手なことを克服すると自信がつきチャレンジ精神が益々湧いてきます。皆さんもどんな仕事に就くにしろ、いつも夢をあきらめずに挑戦してください。」と激励の言葉を述べられました。

児童に学ぶ喜びを味わわせてくれたあつという間の90分でした。

中須田木橋渡り初め式



12月13日、大隅町恒吉の市道須田木線、中須田木橋の渡り初め式がありました。

この渡り初め式には、市長、議長のほか地元住民や施工者など約100名が参加し、厳かな中にも盛大に開催されました。

この橋は、橋長18.7m、幅員7mの小さな橋ですが、地域住民の生活道路として、また恒吉から福山へのアクセス道路としてとても重要な橋です。工事は、平成22年10月から着工し、平成23年12月8日に完成の運びとなりました。

当日は、少し肌寒い天候ではありましたが、澄みきった青空の中、地域の皆さんがすがすがしい表情で橋を渡っている様子がとても印象的でした。